

年度/Academic Year	2021	
授業科目名/Course Title (Japanese)	プロジェクトを成功させるための見積もり技術	
教員名/Instructor (Japanese)	初田 賢司	
講義概要/Course description		
<p>業務アプリ開発プロジェクトの成否の大半は見積もりで決まると言っても過言ではない。見積もりにミスがあると、プロジェクトはたちまち混乱する。だが、情報システムの見積もりにおいて、これを使えばピタリと当たるという魔法の仕掛けはなく、現場では属人的で根拠に乏しい見積もりが氾濫しているのが実情だ。本講義では、見積もりにエンジニアリングとマネジメントの側面から光を当て、体系だったディスカッションや演習を通じてプロジェクトを成功させるために必要な見積もりの論理性、合理性を高める技術を習得する。</p>		
達成目標/Course objectives		
<p>本講義を通して受講者が以下のような知識・スキルを習得することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積もりのプロセスと基本的な技法を説明することができる ・案件や見積もりの場面に応じて適切な見積もり技術を使うことができる ・作成したプロジェクトの見積もりをロジカルに説明することができる ・受け取った見積もりをロジカルに評価することができる 		
授業計画/Lecture plan		
講義回		
1	イントロダクション	なぜ見積もりは必要なんだろう？何のために見積もるんだろう？ 見積もりへのアプローチ方法を考える
2	見積もりの基礎知識	見積もり技法や見積もりの手順などの基礎知識を解説 テーマ：見積もり技法、見積もりの流れ
3	見積もり技術の体系的な理解	規模見積もりとは何か？ テーマ：規模のメトリクス、ファンクションポイント法
4		工数見積もりとは何か？ テーマ：生産性、生産性変動要因、非機能要件、WBS
5		コスト見積もりとは何か？ テーマ：コスト構造、人件費、予備費
6		価格見積もりとは何か？ テーマ：コストと価格、値頃感、公開データの活用
7		期間の見積もり 保守開発プロジェクトの見積もり
8	RFP(Request for Proposal)	見積もりの入力情報を考える
9	プロジェクトを成功に導くために	見積もり起因のロスコスト、失敗事例
10	見積もり評価	見積もり評価とは何か？ テーマ：評価項目、評価の基準

授業方法/Method of instruction

1日目：1回から4回をキャンパスでの対面講義

2日目：5回から7回をZoomを利用したオンライン講義

3日目：8回から10回をZoomを利用したオンライン講義

成績評価方法/Evaluation

授業への貢献(50%)およびレポート(50%)を評価する

参考書/Reference books

初田賢司「本当に使える見積もり技術 [改訂第3版]」日経BP社